

計画策定時に現状値等が未把握の5指標について（計画書P41～P42）

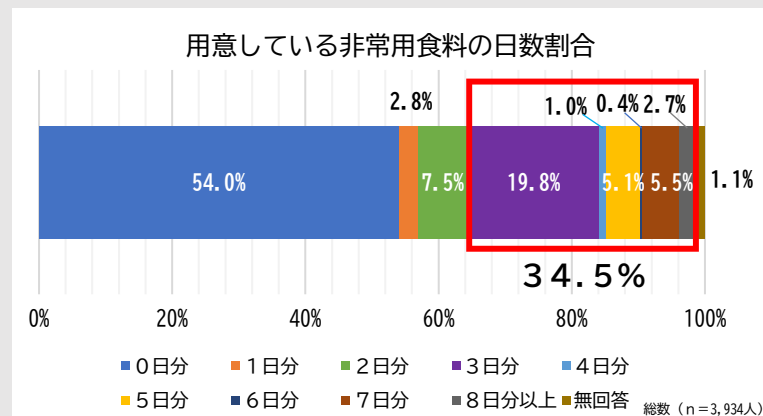
指標	現状値	目標値	備考	計画書該当ページ
6「人と比較して食べる速度が速い人の割合」	令和6年3月 男性：46.8% 女性：35.3%	男性：38.5% 女性：29.9%	令和6年度会議で決定	P25
11「地域等で共食している人の割合」	令和6年度 67.3%	31.9%	令和7年度会議で決定	P27
18「栄養教諭等と連携して食に関する指導を実施している小・中学校の数（割合）」	令和5年度 小学校：97% 中学校：81% 特別支援学校：100%	増加	令和6年度会議で共有	P32
26「学校給食で郷土料理や伝統料理を月に1回以上提供する市町村の数」	令和6年3月 20/39市町村	増加	令和6年度会議で共有	P35
35「災害時の非常用食料等を備蓄している人の割合」	令和7度なら健康長 寿基礎調査で把握	本会議で決定	令和元年度国民健康・栄養調査を参考とする	P40

3 5 災害時の非常用食料等を備蓄している人の割合

基本方針4 食を支える環境づくり (8) 社会情勢の変化に対応した食育 ⑬災害時の備えの推進

令和7年度なら健康長寿基礎調査の結果

問5-1「非常用の食料は、世帯人数として何日分を想定して用意していますか」で、「3日分」以上の回答を選んだ割合



*全回答者の備蓄状況を把握するため、問5「あなたの世帯は災害時に備えて非常用の食料を用意していますか」で「ない」との回答は、0日分として集計

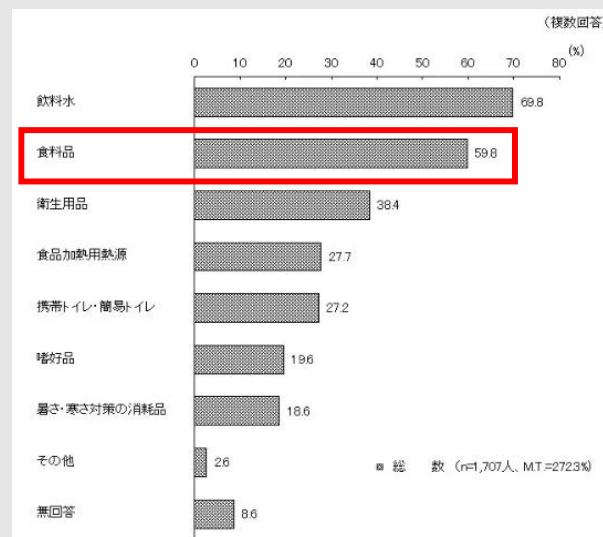
現状値：34.5%

◆評価指標

評価指標	現状値	目標値 (R11)	把握方法	目標値の考え方
災害時の非常用食料等を備蓄している人の割合	R7 年度 把握	R7 年度 設定	県民健康・食生活実態調査	(参考) 令和元年国民健康栄養調査 近畿Ⅱ (奈良県・和歌山県・滋賀県) 36.5% 全国 53.8%

令和7年防災に関する世論調査

問8「あなたのご家庭において、以下のうち3日以上備蓄しているものはどれですか」で、「食料品」を選んだ割合



食料品：59.8%

内閣府ホームページ「防災に関する世論調査」より抜粋

→ 奈良県の現状値 (34.5%) は、令和7年度防災に関する世論調査における、「食料品」を3日以上備蓄していると回答した割合 (59.8%) と比較し、下回っている。

◆評価指標 (案)

評価指標	現状値	目標値	目標値の考え方
災害時の非常用食料等を備蓄している人の割合	34.5% (R7)	59.8% (R11)	令和7年防災に関する世論調査で、「食料品」を3日以上備蓄していると回答した割合 (全国) を目指す。